

(社会) 科 (2) 学年 年間指導・評価計画

- 教科の目標 ① 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。
 ② 社会的現象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 ③ 社会的現象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学期	月	単元名・学習内容	予定 時数	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
1	4	日本の地域的特色と地域区分 ・自然環境 ・人口 ・資源やエネルギーと産業 ・交通と通信	14	・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 ・少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ・地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。	・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の地域的特色を「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	5					
	6	近世の歴史 ・世界の動きと統一事業 ・江戸幕府の成立と対外関係 ・産業の発達と町人文化 ・幕府の政治の展開	23	・ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊田による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係を基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、現象を相互に関連付けるなどして、「世界の動きと統一事業」から「幕府の政治の展開」までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	7					
	8	地域調査の手法	7	・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的スキルを身に付けている。	・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	9	近代の日本と世界 ・欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き ・明治維新と近代国家の形成 ・議会政治の始まりと国際社会との関わり ・近代産業の発展と近代文化の形成	26	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国の関連などに着目して、現象を相互に関連付けるなどして、「欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」から「近代産業の発展と近代文化の形成」までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	10					
11						
2	12	日本の諸地域 ・九州地方 ・中国四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	35	・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・「自然環境」「人口や都市・村落」「産業」「交通や通信」「その他の事象」を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。	・日本の諸地域において、それぞれの「自然環境」「人口や都市・村落」「産業」「交通や通信」「その他の事象」で扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	1					
	2					
3	3					
	3					
合計			105			